

ボランティアグループ活動紹介

広島市要約筆記サークル

おいづる夜の部(中区支部)

- ★ 発 足 1983(昭和58)年4月
- ★ 会員数 8名
- ★ 活動場所 中区地域福祉センター
- ★ 活動日時 毎月第2土曜日 10:00~12:00
毎月第4火曜日 19:00~21:00



中区ボランティアだより

社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会 中区ボランティアセンター
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階
TEL (082)249-3114 FAX (082)242-1956
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp
ホームページ http://shakyo-hiroshima.jp/naka/



2013年
1月号

新年あけましておめでとうございます。

2013年が、みなさまにとって素晴らしい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。
本年も、変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

受講生募集

やってみよう！ボランティア入門講座 ～あらたな出会いと学びを～



この講座では、ボランティア活動に関心のある『あなた』を応援します。
ボランティア活動の楽しさやコミュニケーション技術について学び、
ご自分に合ったボランティア活動をみつけてみませんか？
たくさんの方の参加をお待ちしております♪

日時	内容	講師など
3月18日(月) 10:00~12:00	『ボランティア活動をはじめませんか』	講師：NHK 学園実習コーディネーター 遠原 弘子氏
3月21日(木) 10:00~12:00	『コミュニケーションをもっと楽しく！ コミュニケーションをもっと豊かに！』	講師：クリエイティブコミュニケーション 代表 大下 貴子氏
3月22日(金) 10:00~12:00	ボランティア活動紹介・ ボランティアグループとの交流会	中区ボランティア連絡会 中区社会福祉協議会職員

※3月21日は公開講座として、この日のみの参加もできますが、申し込み多数の場合、
入門講座(3日間)を受講される方を優先させていただきますのでご了承ください。

場 所：中区地域福祉センター ボランティア研修室
(広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階)
対 象：ボランティア活動に関心のある方、中区ボランティア連絡会会員
定 員：30名(定員になり次第締め切り)
参 加 費：無料

申込方法：電話またはFAX、Eメールにてお申込みください

*Eメールでお申込みの際には、件名に「ボランティア入門講座申込」と記入して下さい。

Q 要約筆記ってなんだろう？

要約筆記とは、聞こえの不自由な人たち(主に難聴者・中途失聴者)のために文字で伝える通訳のことです。1分間に普通の人話すのは約300~350字位、書けるのは約60~70字とされています。

限られた字数の中で、略号や略語を使いながら「速く・正しく・読みやすく」(三原則)内容を要約して伝えるということで「要約筆記」と呼んでいます。全国35万人(H8年調べ)の聞こえに障害のある方のうち30万人は手話が十分できず要約筆記を必要としています。

中区にある要約筆記サークルおいづる夜の部(中区支部)では、定期的に定例会を開き、要約筆記の学習や難聴者との交流を行っています。10月に開催した「第16回なかくボランティアまつり」では、ステージの要約筆記や、スタンプラリーの福祉体験コーナーも担当され、多くの方に要約筆記を知っていただく機会になりました。今後も聞こえの不自由な人たちへの欠かせないサポート役として、色々な場面で関わる活動を行っていきます。



【ボランティア活動保険更新のご案内】

平成24年度にご加入いただいたボランティア保険の補償期間は平成25年3月31日(日)までです。

平成25年度分の加入手続きは2月から受付を開始します。ボランティア登録をしている社会福祉協議会で更新手続きを行って下さい。

平成25年度より補償内容・掛金が変更となりますので、申込時にご確認下さい。

※2月1日(金)より更新手続きを受け付けております。



【作業所の作品展示コーナー開催中！】

中区地域福祉センター5階エレベーターホールにて、中区にある作業所で作られている作品を展示しています！作業所の仲間が作られた温もりのある作品の数々♪是非、一度見に来てみませんか？(^▽^)
※購入もできますので、お立ち寄りの際は気軽にお声をお掛け下さい。

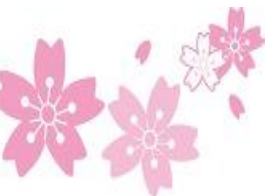
<展示期間>

- | | |
|-----------|------------------|
| ① バンダハウス | 平成25年1月22日~2月8日 |
| ② カーブクラブ | 平成25年2月18日~3月8日 |
| ③ 作業所わくわく | 平成25年3月18日~4月5日 |
| ④ アイラブ作業所 | 平成25年4月15日~5月3日 |
| ⑤ もみじ作業所 | 平成25年5月13日~5月31日 |
| ⑥ あおぎり | 平成25年6月10日~6月28日 |

※掲載記事に関するご質問や各講座などへの参加申し込みは下記の宛先までお問い合わせ下さい。

【申し込み・問い合わせ先】

社会福祉法人 広島市中区社会福祉協議会/中区ボランティアセンター
〒730-0051 中区大手町4-1-1 大手町平和ビル 5階
TEL 249-3114 FAX 242-1956 Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp



わかい ボランティアサロン「和会」

～活動レポート～

ボランティアサロン「^{わかい}和会」は、中区ボランティアセンターに登録している個人ボランティアさんが気軽に集えて、情報交換しながら交流できる場として、毎月第二火曜日の午後、中区地域福祉センターで開催しています。登録されているボランティアさんだけでなく、中区でのボランティア活動に関心のある方の参加も大歓迎です。今回は、ボランティアサロン「和会」の様子をご紹介します（^▽^）

どんな活動をしているの？

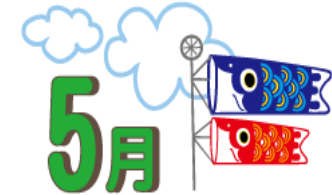


記念すべき初めての「和会」！

この日は、地域で子どもたちの支援活動しておられるボランティアさんに紙芝居を披露していただき、みなさん真剣に聞き入っておられました。紙芝居や囲碁将棋など、趣味・特技を活かした活動のお話に元気をいただきました。

この日、これからの和会について話し合い、東日本大震災の被災者支援活動として手作りおもちゃを贈ろうとの提案をいただき、手作りおもちゃとその材料を集めて送ることになりました。

この日、これからの和会について話し合い、東日本大震災の被災者支援活動として手作りおもちゃを贈ろうとの提案をいただき、手作りおもちゃとその材料を集めて送ることになりました。



「和会」から中区登録のボランティアさんへ発信したところ、たくさんの毛糸や編み針をご提供いただき、南相馬市社協を通じて被災者の皆さまへお届けすることになりました。

6月の「和会」では、参加者全員で荷造りをしました。絵手紙も同封し、被災地で暮らすみなさんに元気になっていただきたいという思い込めて、南相馬市社協に送りました。



南相馬市鹿島区福祉サービスセンターのロビーに絵手紙を展示していただきました☆



7月、8月は茶話会♪

特にテーマを決めることなく、参加した人同士でゆっくりとお話しをしました。それぞれの活動の嬉しかったこと、不安に思ったことなど、日頃の思いを皆さん熱く語り合っておられました。

この時に、10月に行うなかくボランティアまつりに個人ボランティアとしてみんなで参加しようと決まりました。



和会に集う個人ボランティアで、10月に開催される「第16回なかくボランティアまつり」の、福祉体験コーナー（アイマスク・高齢者疑似・車いす）と、共同募金コーナーのお手伝いをする事となり、早速アイマスク体験について話し合い、みなさんで体験学習をしました。

見えないことで出来ないことと、見えなくても出来ることを自ら体験しながら、何をどう伝えていけばいいかを一生懸命考えました。

見えないことで出来ないことと、見えなくても出来ることを自ら体験しながら、何をどう伝えていけばいいかを一生懸命考えました。

ボランティアグループ「ほのほの広島会」の方を講師に招いて、高齢者疑似体験・車いす体験について学びました。

10月27日（土）に開催された「第16回なかくボランティアまつり」では、会場準備や当日の運営などで、多くの和会の参加者の方にご協力いただきました。



ボランティアまつりも無事に終わり11月はほっと一息。高齢者施設などで絵手紙の先生役をされているボランティアさんにリードしていただき、一人ひとり年賀状の絵手紙を描いて楽しみました。真剣に描きながらも、みなさん口は大変お元気で、笑顔いっぱいのお和会でした。



年末年始の和会は、ゆっくりゆったり茶話会です。ボランティア研修会やボランティア講座の案内もあり、早速たくさんの方が申し込みをされました。

3月には、暗室にてまったく見えない状態で、飲み物を飲んだり、音を聞くなどの体験を行います。視覚障がいのある方にきていただいて、体験をリードしていただく予定です。体験後の皆さんの感想が楽しみです♪

体験後の皆さんの感想が楽しみです♪

☆次回2月は、3月に向けた話し合い。

3月は「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」をする予定です♪

※3月の和会は準備が必要なため、事前に申し込みをお願いします。尚、申し込み多数の場合、調整をさせていただく場合がありますので、ご了承下さい。

※ダイアログ・イン・ザ・ダークとは、日常生活の様々な内容をまっくらな空間で、聴覚や触覚など視覚以外の感覚を使って体験するエンターテインメント形式のワークショップです。

このように、和会では決まった活動があるわけではありません。ボランティアさんが興味のあることに取り組んでみたり、普段のボランティアの活動について話し合ってみたりと、和会はボランティアさんのための集まりの場です。

中区でのボランティア活動に関心のある方なら誰でも参加することができます。関心のある方は、中区社会福祉協議会までご連絡下さい。また、開催する曜日や時間についてもご意見をお聞かせ下さい。